

第10回地籍工程管理研修

第10回地籍工程管理士検定試験

ガイドブック

※今回の研修は、会場に集合しないオンラインにより行います。
受講者様におかれましては、ご自身のインターネット環境をご確認のうえ、お申込みください。

※オンラインの環境にない方への救済措置はありません。お申込みの際は、ご承知おきください。

* 研修及び試験の会場は、東京、大阪、福岡の3会場あり、定員数に制限がありますので、ご注意ください。

公益社団法人 全国国土調査協会

研修の目的

●地籍調査事業に係る専門技術者の育成●

この研修は、国土調査法（昭和 26 年法律第 180 号）第 10 条第 2 項の規定に基づく受託法人が地籍調査事業を適正かつ迅速に実施するために必要な同事業の工程管理及び検査業務に精通し、地籍主任調査員等の指導的立場である専門技術者を育成することを目的として行われます。

研修及び試験

地籍工程管理士の資格を取得しようとする者は、公益社団法人全国国土調査協会（以下「全協」という。）が実施する地籍工程管理研修及び地籍工程管理士検定試験を受けなければなりません。

合格者

公益社団法人全国国土調査協会会長（以下「全協会長」という。）は、外部有識者による資格審査委員会において試験の結果が一定水準以上の知識を修得していると判定した者を、試験の合格者として地籍工程管理士に認定し、その登録を行います。

●認定証の交付●

全協会長は、合格者について、全協が定める地籍工程管理士登録規則（全協ホームページの「地籍工程管理士の登録」にある PDF を参照）に基づく登録をした場合には、その者に認定証を交付します。

●登録証の交付●

全協会長は、全協が定める地籍工程管理士登録規則に基づき、登録を行った者に、地籍工程管理士登録証を交付します。

研 修

【研修受講資格】

地籍主任調査員の資格を取得した日（認定日）後から令和4年12月31日までの間に、地籍調査に関する業務又は境界確認作業を伴う地籍調査に類似する業務に3年以上従事した経験を有し（**予定を含む。**）、かつ、地籍工程管理研修の申込期日最終日までの間に、有効期間内の地籍主任調査員の登録証を所持している者又はその更新手続中である者。

または、この研修の申込最終日までの間に有効期限内の地籍工程管理士の登録証を所持し、もしくはその更新の手続き中である者（近時の地籍調査関係情報の修得等を目的とする者）。

※ 地籍調査に関する業務とは、地籍調査、街区境界調査（旧・官民境界先行調査を含む。）、都市部官民境界基本調査、山村境界基本調査を指します。

※ 地籍調査に類似する業務とは、境界確認作業を伴う土地区画整理・土地改良・用地の測定及び土地家屋調査士業務を指します。

※ 令和元年度第21回地籍主任調査員の**資格認定日は、令和元年8月20日です。**

【受講手続及び申込方法】

1 提出書面

- ① 全協指定の申込書1部（受験もされる場合は、写真（上半身・無帽4.5cm×3.5cm 撮影後3か月以内のものとし、裏面に氏名を明記）を貼付してください。）
- ② 実務経歴書1部（**過去に受験された方又は、地籍工程管理士資格をお持ちの方は提出不要です。**ただし、**地籍工程管理士の方は、その登録証の写しを提出してください。**）
- ③ 送金連絡書1部（受講及び受験の場合には受講料及び受験料の合算額を、受講のみの場合には受講料の額を送金した**口座振込票の写しを添付**）
- ④ 地籍主任調査員登録証の写し1部

2 申込方法

郵送によってお申し込みください。なお、申込書は返還しません。

※ 申込書は、「地籍工程管理研修及び地籍工程管理士検定試験申込書」（受講のみの場合は「地籍工程管理研修申込書」）様式を使用してください。

※ 申込書に氏名・現住所を記載するに当たっては、必ず住民票の記載を確認のうえ**住民票記載のとおり**記載してください。

※ 申込書等は、本ホームページに掲載の指定様式をダウンロードして、使用してください。

※ 送付先は次の通りです。

〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-32

全国町村会館西館8階 公益社団法人全国国土調査協会広報研修部

【申込期日】

令和4年1月11日（火）～3月15日（火）当日消印有効

※ 申込期日経過後の申込みは、外部有識者からなる資格審査委員会による研修受講資格の審査を受けているため、**事情の如何に関わらず受け付けできません。**

【研修科目】

1. 地籍調査要論
2. 工程管理及び検査総論
3. 一筆地調査の工程管理及び検査
4. 地籍測量の工程管理及び検査

【研修期間】

令和4年6月23日（木）～令和4年7月3日（日）

※ 受講は、期間中、いつでも何回でも視聴することができ、受講後の**アンケート**に回答することによって、**資格審査会が受講の確認**をします。

【受講方法】

受講される方々の利便及び、新型コロナウイルス感染防止対策に鑑み、次のとおり会場での講義は行わない**オンラインによる研修**を実施します。

1. 受講期間

外部の有識者からなる資格審査委員会の受講資格審査により認定された受講者は、申込書に記載したメールアドレス宛に送信されたID及びパスワードにより株式会社ネットラーニング（以下、「NL社」という。）から配信される動画で受講します。

2. パソコン環境

受講者の使用するパソコン等がNL社のホームページに示されている**推奨環境に適合しているか、あらかじめ確認してください**（詳細は、別紙資料を参照）。

【受講料】

金30,555円（税込み）

但し、地籍工程管理士資格をお持ちの方（この研修の申込最終日までの間に有効期限内の地籍工程管理士の登録証を所持、もしくはその更新手続き中である者）に限り**金20,370円（税込み）**

※ 受験も申込みされる場合は、受験料5,093円と合算してお振込みください。

※ 振込先は、銀行 みずほ銀行（銀行コード 0001）

支店 ちょうそんかいかん 町村会館出張所（店番号 013）

口座番号 普通1980604

口座名義人 公益社団法人全国国土調査協会 です。

※ 受講申込後の**返金はいたしません**ので、受講資格を確認の上、入金してください。

なお、受講資格がないと判断された場合には、**振込手数料金を差し引いた額**を返金します。

【測量 CPD ポイント】

この研修の全ての科目を受講すると、測量系 CPD 協議会（事務局：公益社団法人日本測量協会内）の認定する測量 CPD ポイントとして5ポイントが取得できます。詳しくは、測量系 CPD 協議会のホームページをご覧ください。**測量 CPD ポイントを希望される場合は、「地籍工程管理研修及び工程管理士検定試験申込書」（受講のみの場合は「地籍工程管理研修申込書）」様式の中の該当欄に希望の有無を明示してください。**5ポイントの取得に必要な書類は、受験される方には合否通知に同封して、受講のみの方には同時期に郵送いたします。

試 験

【試験受験資格】

次の条件を全て満たす者

- ・地籍工程管理研修を受講した者（過去に同研修を受講した者を含む。）。
- ・地籍工程管理士検定試験の申込期日最終日までの間に、有効期限内の地籍主任調査員の登録証を所持している者又はその更新手続き中である者。

【受験手続及び申込方法】

1 提出書面

① 全協指定の申込書1部（写真貼付：上半身・無帽 4.5cm×3.5cm 撮影後3か月以内のものとし、裏面に氏名を明記）

② 送金連絡書1部（受験料の額を送金した口座振込票の写しを添付）

※ 今回の地籍工程管理研修を受講し、地籍工程管理士検定試験を受験する方は、「地籍工程管理研修及び地籍工程管理士検定試験申込書」様式を使用してお申し込みください（検定試験申込書は不要です。）。

※ 地籍工程管理士検定試験のみを受けられる方（過去に地籍工程管理研修を受講しており、今回の研修を受講しない方）は、「地籍工程管理士検定試験申込書」様式を使用してお申し込みください。実務経歴書の提出は不要ですが、地籍主任調査員登録証の写しを1部提出してください。

※ 上記いずれかの申込書に氏名・現住所を記載するに当たっては、必ず住民票の記載を確認のうえ住民票記載のとおり記載してください（特に、氏名については、当該申込書に記載された文字を使用して資格取得の「認定証」を作成するので、注意してください。）。

※ 申込書等は、本ホームページに掲載の指定様式をダウンロードして、使用してください。

※ 送付先は、次のとおりです。

〒100-0014 東京都千代田区永田町 1-11-32

全国町村会館西館 8階 公益社団法人全国国土調査協会広報研修部

※ 身体に障害のある方は、受験の際に必要な措置を講ずることがありますので、申込時にご連絡ください。

【申込期日】

令和4年1月11日（火）～3月15日（火）当日消印有効

※ 試験会場施設の関係から、受験申込数が定員に達したときは、ホームページにてお知らせし、申込書の先着順により受付を終了とします。

※ 申込期日経過後の申込みは、外部有識者からなる資格審査委員会による研修受講資格の審査を受けているため、事情の如何に関わらず受付できません。

【検定試験】

筆記試験により行います。

【試験科目】

1. 地籍調査要論
2. 工程管理及び検査総論
3. 一筆地調査の工程管理及び検査
4. 地籍測量の工程管理及び検査

【試験日時】

令和4年7月4日（月）午前14時00分～15時30分

※ 午後1時50分から注意事項説明を行います。

【受験定員】

- (1) 東京会場 200名
- (2) 大阪会場 120名
- (3) 福岡会場 90名

※申込みの先着順であり、その後の会場変更はできません。

【試験会場】

(1) 東京会場

砂防会館 別館B・1階（利根大会議室）
東京都千代田区平河町2-7-4（地下鉄永田町駅徒歩1分）

(2) 大阪会場

難波御堂筋ホール 7階（ホール7）
大阪府大阪市中央区難波4-2-1（地下鉄なんば駅徒歩1分）

(3) 福岡会場

九州ビル 9階会議室
福岡県福岡市博多区博多駅南1-8-31（JR博多駅徒歩5分）

※ 試験会場においては、本試験に関する問い合わせを一切受けておりません。

【試験日程】

日	時	東京会場・大阪会場・福岡会場
7 月 4 日 (月)	13:50～14:00	注意事項の説明等
	14:00～15:30	試 験

【受験料】

金5,093円(税込み)

※ 研修も申込みされる場合は、受講料と合算してお振込みください。

※ 振込先は、銀行 みずほ銀行（銀行コード 0001）

支店 ちょうそんかいかん 町村会館出張所（店番号 013）

口座番号 普通1980604

口座名義人 公益社団法人全国国土調査協会 です。

※ 受験申込後の返金はいたしませんので、受験資格を確認の上、入金してください。

なお、受験資格がないと判断された場合には、振込手数料金を差し引いた額を返金します。

【受験票の送付】

資格審査委員会による受験資格の審査後、受験番号を記載した受験票を郵送により通知します。受講も申込みされた方には、**研修テキスト等に同封します。**

【携行品】

受験票（受理通知兼受講終了届）、筆記具

【結果発表等】

- 1 試験問題用紙は、試験終了時刻までに在席していた場合に限り、持ち帰ることができます。なお、試験問題の内容についての照会には、一切応じません。
- 2 試験問題の正解及び配点を、全協ホームページに、試験日の翌営業日に掲載します。なお、掲載内容についての照会には、一切応じません。
- 3 合格者および合格判定基準は、資格審査委員会における審議結果後、全協のホームページに掲載します。なお、審査結果についての照会には、一切応じません。

【測量 CPD ポイント】

この試験に合格し、地籍工程管理士の登録をされると（※）、測量系 CPD 協議会（事務局：公益社団法人日本測量協会内）の認定する測量 CPD ポイントとして7ポイントが取得できます。詳しくは、測量系 CPD 協議会のホームページをご覧ください。7ポイントの取得方法につきましては、合格通知を郵送の際にご案内いたします。

※合格発表日から1年以内に登録がされない場合、**合格資格を失い登録することができなくなります**ので、ご留意願います。